



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

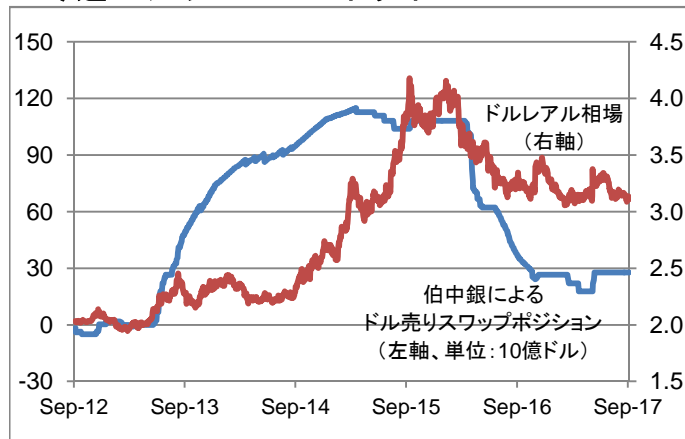
			9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1030	3.1260	3.1350	3.1210	3.1100	-0.0110
	BRL/JPY	Spot	35.26	35.23	35.24	35.34	35.63	+0.29
	EUR/USD	Spot	1.1954	1.1967	1.1883	1.1919	1.1948	+0.0029
	USD/JPY	Spot	109.40	110.16	110.50	110.26	110.84	+0.58
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.44	7.40	7.38	7.34	7.34	-0.0064
	Future	1Year(p.a.)	7.50	7.45	7.43	7.39	7.35	-0.0393
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.421	2.480	2.463	2.333	2.220	-0.113
	USD	1Year(p.a.)	2.475	2.512	2.518	2.447	2.379	-0.068
株式	Bovespa指数		74,319.25	74,538.56	74,787.56	74,656.69	75,756.50	+1,099.81
CDS	CDS Brazil 5y		180.56	183.39	181.60	181.28	178.99	-2.29
商品	CRB指数		181.660	181.411	182.883	183.310	184.052	+0.741

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.14台後半まで売られるも週後半にかけて3.11台へ買戻しが進行。
- 週初のレアルは3.0890で寄り付いた。前週末、伯連邦警察はテメル大統領の汚職捜査に関する司法取引を巡り、大手食肉加工企業の幹部の身柄を拘束。これを好感して週初は底堅い動きとなった。その後、最高裁判所が連邦検察庁に対してテメル大統領の追加容疑に関する捜査を承認。また米税制改革に対する期待感の高まりからドル買いが見られる中、レアルは週間安値の3.1470まで下落した。週後半にはリスクオンムードが広まる中、3.11台まで買戻しが進行。テメル大統領に対する追加起訴や、月末に期日を迎える伯中銀のドル売りスワップポジションによるドル買い観測から上昇が一服する場面も見られたが、結局3.1100で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.50%から0.60%へ、2018年は2.00%から2.10%へ上方修正された。インフレ率予想は2017年が3.38%から3.14%へ、2018年は4.18%から4.15%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.20、2018年末は3.35でそれぞれ据え置かれた。
- 12日、先週5-6日に開催されたCOPOMの議事録が公表され、次回会合(10月24-25日開催)から利下げ幅を緩やかに縮小していくとする伯中銀の姿勢が改めて確認された。金利先物市場は引き続き10月会合の0.75%、12月会合の0.50%の利下げを織り込んでいる。
- 14日、連邦検察庁はテメル大統領を捜査妨害とPMDB(伯民主運動党)を巡る汚職スキームに関する容疑で起訴した。6月に起訴されたときと同様、最高裁での審理開始には下院で3分の2の賛成が必要だが、審理開始は阻止されると見られている。
- 国内の政治・経済動向に対する楽観的な見方を背景にボベスパ指数は週末にかけて過去最高値を更新し、そのまま高値圏で越週した。またブラジルの5年物CDSスプレッドは179bpsの水準まで低下して推移している。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

伯中銀がドル売りスワップポジションの ロールオーバーを再開

伯中銀は9月末期日のドル売りスワップポジション約99.8億ドルについて、15日から1日あたり6億ドル相当の規模でロールオーバーを開始した。このペースが続いた場合、月末に39.8億ドルのポジションが期日を迎え、同額のドル買い戻しが発生する見込み。月末に向けてレアルの上値を抑える要因になると見られる。ゴールドファイン伯中銀総裁は13日、適度なスワップポジションは中銀の行動に柔軟性をもたらすと発言しており、引き続きレアル相場の動向を見ながらスワップポジションを調整していくものと見られる。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05－3.15

来週のレアルは底堅い動きを予想する。テメル大統領の起訴に関しては下院の同意が得られず最高裁による審理開始が阻止されるとの見方が強い。同大統領の汚職捜査を巡る司法取引の有効性に疑問が持たれている状況下、改革進展への期待感がレアルを含むブラジル資産をサポートする展開が見込まれる。米国サイドでは19-20日にFOMCが開催予定。利上げは予想されていないもののバランスシート縮小に関する決定を行うと見られており、結果に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	18.0	24.4	25.2
米	小売売上高速報(前月比)	0.1%	-0.2%	0.6%
米	鉱工業生産(前月比)	0.1%	-0.9%	0.2%
米	設備稼働率	76.7%	76.1%	76.7%
米	ミシガン大学消費者マインド	95.0	95.3	96.8
米	企業在庫	0.2%	0.2%	0.5%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Sep	0.41%	0.03%
ブラジル	9/18	FGV CPI IPC-S	Sep 15	0.00%	0.10%
ブラジル	9/18	貿易収支(週次)	Sep 17	--	\$1190m
ブラジル	9/18	登録雇用創出合計	Aug	57500	35900
ブラジル	9/18	税金	Aug	98326m	109948m
米	9/19	住宅着工件数	Aug	1174k	1155k
米	9/19	輸入物価指数(前月比)	Aug	0.4%	0.1%
ブラジル	9/20	FIPE CPI-週次	Sep 15	0.01%	0.05%
米	9/20	中古住宅販売件数	Aug	5.46m	5.44m
米	9/20	FOMC政策金利(上限)	Sep 20	1.25%	1.25%
ブラジル	9/21	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Sep	0.14%	0.35%
ブラジル	9/21	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Sep	2.60%	2.68%
米	9/21	フィッシャー・連銀景況	Sep	17.0	18.9
ブラジル	9/22	FGV消費者信頼感	Sep	--	80.9
ブラジル	9/22	CNI産業信頼感	Sep	--	52.6

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。